

情報活用能力として情報モラルを

学校でどのように育てるか？

—課題の整理と転換に向けたポイント—

常葉大学教育学部

准教授 酒井 郷平

自己紹介

【ファシリテーター】

酒井 郷平 (さかい きょうへい)

博士(教育学) / 常葉大学教育学部 准教授

専門分野: 教育工学, 情報教育 (特に, 情報モラル教育)

▶ 主な委員等

文部科学省委託事業情報モラル検討委員会委員 (2018年～現在)

文部科学省学校DX戦略アドバイザー (2022年～現在)

情報活用能力としての情報モラル教育の位置づけ

小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編

第2節 教育課程の編成 1各学校の教育目標と教育課程の編成(第1章第2の1)

学習の基盤となる資質・能力(第1章第2の2の(1))

(1) 各学校においては、児童の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力(情報モラルを含む。)、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。

情報活用能力(情報モラルを含む。)

情報を上手に活用する力 + リスクに対応する力

情報活用能力としての情報モラル教育の位置づけ

A 「情報活用の実践力」 課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力

B 「情報の科学的な理解」 情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と、情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解

C 「**情報社会に参画する態度**」 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、**情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度**

「情報化の進展に対応した初等中等教育における情報教育の推進等に関する調査研究協力者会議 第1次報告」

情報モラル教育の目的の先には、
「**情報社会に参画する態度**」の育成も含まれている。

ご質問などで挙げられる先生方の情報モラル教育の課題

- 情報モラルといった際に**具体的にどんなことを教えればよいのか**わからない。
- 生成AIの広まりにより、著作権をはじめとした**新しいトラブルへの対応が必要**であると感じる。
- SNSの新たなサービスや生成AIによるトラブルなど、**社会変化**についていくことが難しく感じる。
- 家庭でのスマホ利用だけではなく、学校の一人一台端末も含め、**どのような内容を扱えばよいのか**の判断が難しい。

【情報モラルで扱う内容】に関する課題
(何を・どこまで教えるのか?)

ご質問などで挙げられる先生方の情報モラル教育の課題

- 情報モラルでは、**どんなことを伝えていけば良いのかというイメージが持ちにくい。**
- 道徳と内容として重なる部分もあるため、**情報モラルとしてどのような指導方法が有効なのか知りたい。**
- **具体的に視聴させている動画や授業で活用できる教材などを**知りたい。
- 子どもたちが一人でICTを使う時に、**学習した内容が活かされる指導事例**があれば教えてほしい。

【情報モラルの指導方法】に関する課題
(どのように教えるのか?)

ご質問などで挙げられる先生方の情報モラル教育の課題

- 学校で指導すべき内容が多く、情報モラル教育を行うための**時間の確保が難しい。**
- **どんな時間に話をすればいいのかわからない。**また、**朝の会など短い時間で出来ること**があれば知りたい。
- 年間指導計画やカリキュラムとの関連を持たせることが難しく、**系統的に指導することが困難である。**
- 各学年やクラスで統一的な内容で実施することが難しく、**授業に差が生じてしまう。**

【指導時間の確保や指導計画】に関する課題
(どう位置づけるのか?)

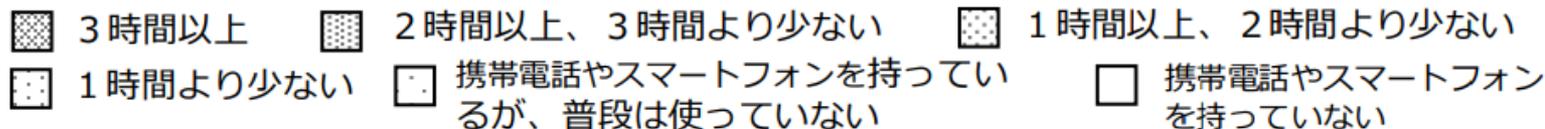
ご質問などで挙げられる先生方の情報モラル教育の課題

- 情報モラル教育は一部の担当者任せで、**全教員の共通理解が進まない。**
- 教職員のICTスキルや**情報モラルへの理解に差があり、実施の意識にも差があることが課題。**
- 家庭との連携の難しさや**学校がどこまで介入するか**の線引きが難しく、**保護者研修**なども効果が感じられない。
- 保護者の意識も高くはなく、**ネット依存ギリギリの子ども**や**SNS**のトラブルが多い。

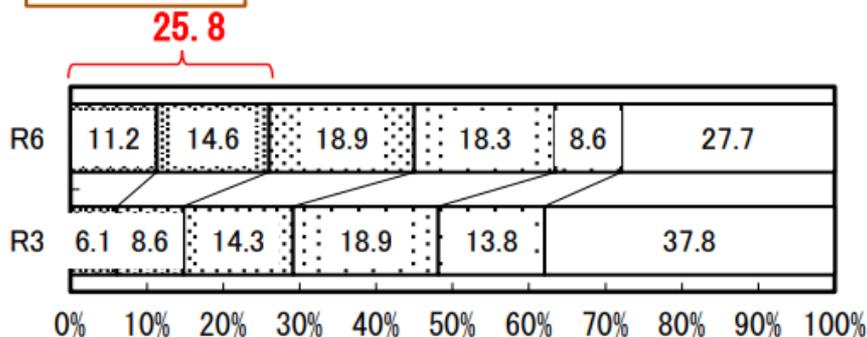
【校内・家庭への浸透や指導体制】に関する課題
(個人任せをどう解消するのか?)

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果から

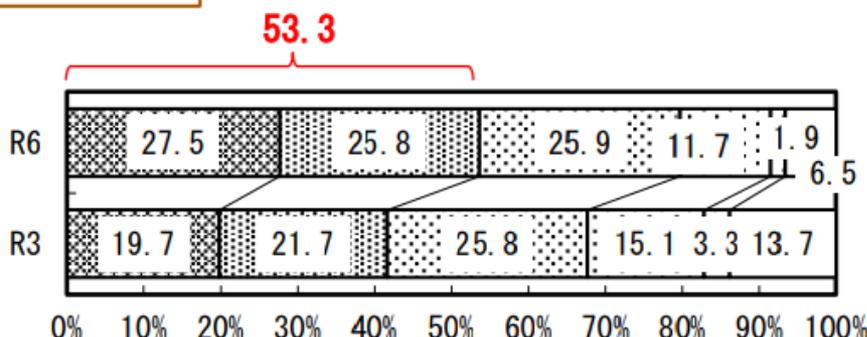
子供の1日の携帯電話・スマートフォンの時間



小学校

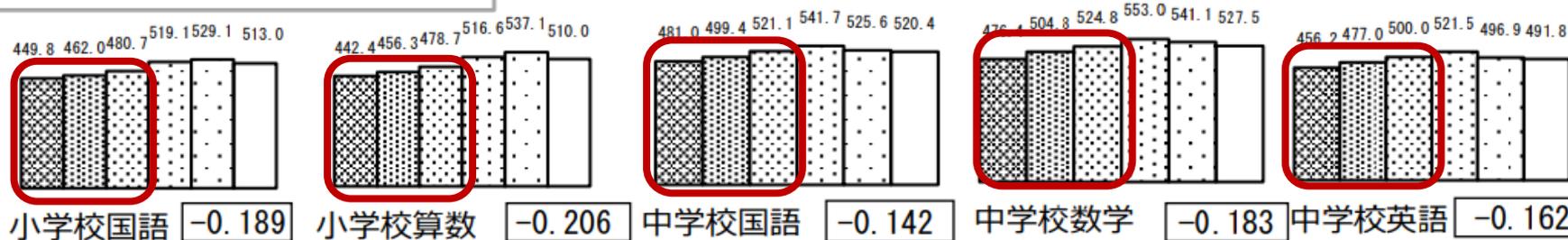


中学校



選択肢ごとの教科の平均スコア

クロス集計

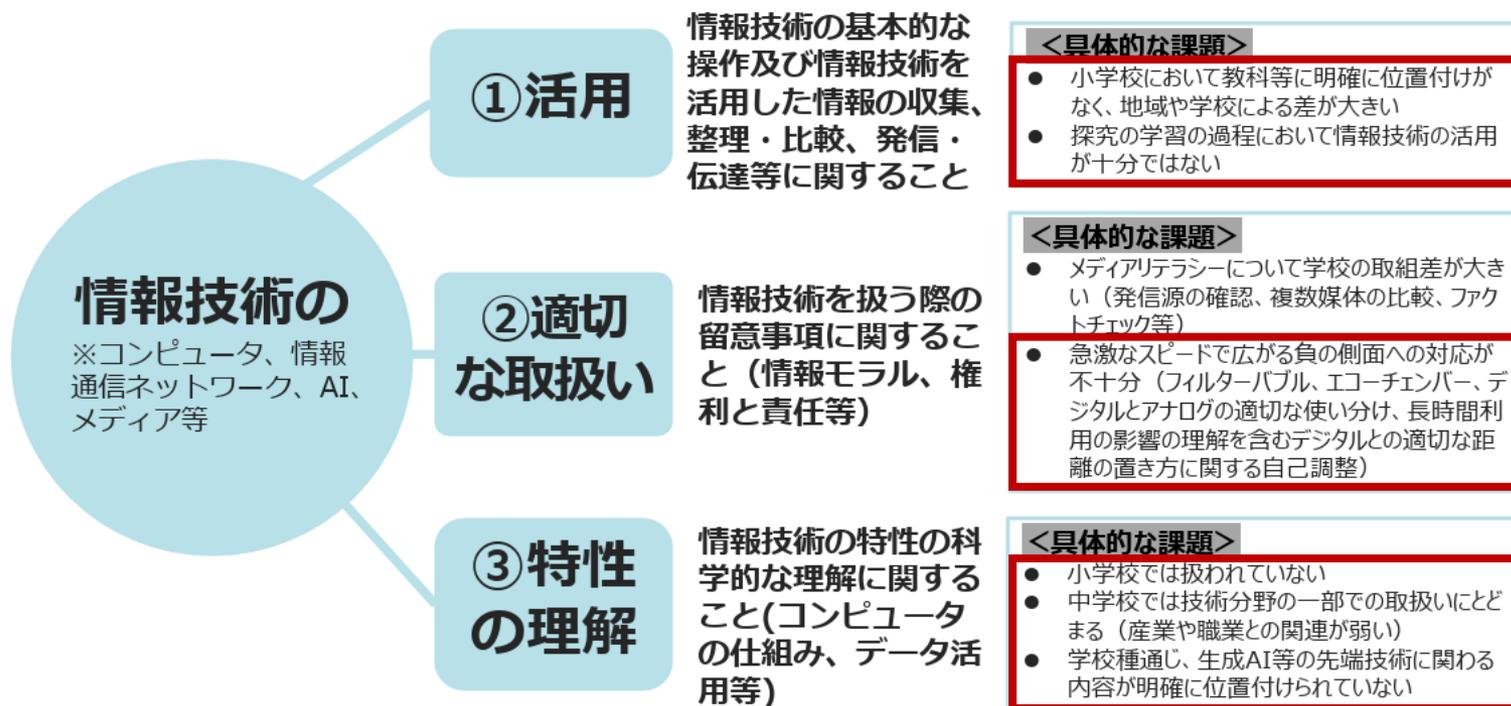


文部科学省・国立教育政策研究所(2025)令和6年度全国学力・学習状況調査 経年変化分析調査・保護者に対する調査の結果(概要)のポイント, p2より抜粋

クロス集計の結果, 利用時間の増加と共に教科の平均スコアが減少傾向に

情報活用能力の抜本的向上に係る主な課題

- 小中高を通じた育成体系が不明確であることや、他国と比べ指導内容が不十分であること等の課題を踏まえれば、情報活用能力の抜本的向上に向けた内容面の充実の方向性については、**（１）どのように情報技術の活用の実態を高めていくか**（主に①活用）、**（２）内容として不足している部分をどう充実するか**（主に②適切な取扱い、③特性の理解）という観点で総合的に整理することが重要



文部科学省（2025）教育課程企画特別部会 論点整理, p51より抜粋

“教育課程への位置づけ”や“新たな技術のリスクをどう教えるか”が課題に

情報モラル教育の課題のセグメント

【情報モラルで扱う内容】
(何を・どこまで教えるのか?)

【情報モラルの指導方法】
(どのように教えるのか?)

【指導時間の確保や指導計画】
(どう位置づけるのか?)

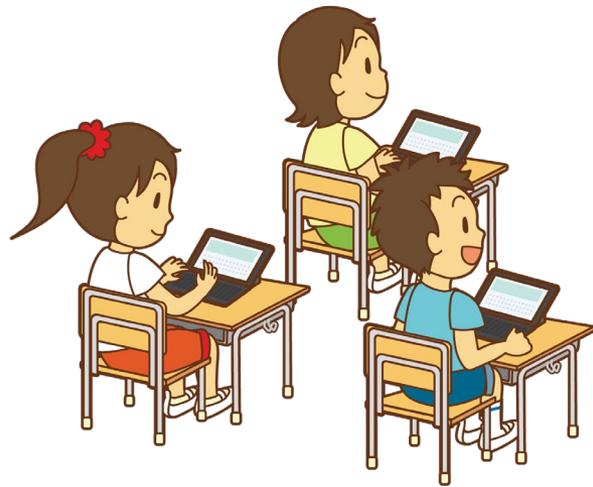
【校内・家庭への浸透や指導体制】
(個人任せをどう解消するのか?)



本日の指導者セミナーでは、こうした悩みや課題に対して、
実践事例を通して、アプローチ方法について考えていきたいと思えます

「情報活用能力」を育成するということ

「ICTを操作すること」＝「情報活用能力の育成」ではない



情報活用能力を育成するために…

- ・何のためにICTを使うのか？
- ・他の手段と比較して選択できているか？
- ・どんな課題を解決したいのか？

方法ベースではなく、**目的ベース**で

探究的に活用できることが重要。



情報モラル教育も同様に、「情報モラルの教え方」だけではなく、**どんな時に、どんな情報モラルが必要になるか**を考えることがポイントに

探究的に情報モラルを考えていく必要性

※昨年度の取り組み

子どもたちが偽・誤情報に関するショート動画を作成するコンテストを開催

情報モラル教育推進事業

みんみの動画をリード!!

優秀作品は文部科学省MEXTチャンネルで公開

情報モラルの輪を広げようプロジェクト

30秒～60秒のショート動画作成

募集テーマ

日常生活で偽・誤情報に騙されないために、どのようにすればよいか。

参加対象

- 小学校、中学校、高等学校に所属する児童生徒（義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校の児童生徒に関しては、年齢相当の学校種の応募資格を有する。）
- 学校単位の申込（1校あたり最大40作品）

表彰・結果発表

- 小学校、中学校、高等学校それぞれ優秀作品を2作品選定
- 結果発表…令和7年2月頃

申込締切 8.30 FRI 動画提出締切 10.31 THU

文部科学省学校デジタル化プロジェクトチーム
情報教育振興室 digital-pt@mext.go.jp 文部科学省

情報社会に参画する立場として、

何がリスクになりうるかを考え、自ら他者や社会へ働きかけることでの学び

「情報活用能力」を育成するということ

「情報モラル」を必要とする場面での指導の重要性



情報モラルを必要とする授業場面

- ・タブレットで写真を撮影するとき
- ・クラスでチャットで交流するとき
- ・校内へ発信するポスターを作成するとき

「授業・学校の文脈」の中で
情報モラルを教えることも有効。



全ての内容を均一的に指導するのではなく、
子どもたちの活動に関連しやすい内容から教えることで「**自分事**」に。

「活用場面」で指導する情報モラル

情報の「活用場面」で使える情報モラルの教材例

じょうほう がくしゅう
情報モラル学習サイト

～スマホ・タブレットやネットを上手に活用できるかな?～

- 情報モラルとは、みなさんが情報社会の中で上手に生きていくために必要な考え方や態度のことです。
- このサイトでは、写真やイラスト、動画を見ながら約3つの問題に挑戦することで、情報モラルについて学ぶことができます。
- 活用場面ごとに、いろいろな問題に挑戦することができます。それぞれ約5分～10分で学習できます。
- 小学校1年生～高校3年生が対象です。推奨学年にこだわらず、学びたいものを自由に学んでみましょう。

タブレットを初めて使う

インターネットを活用する

情報を発信する

オンラインで交流する

作品を作る

マナーを守って使う

健康に気を付けて使う

SNSなどを使う

情報を確かめる

NEW 生成AIを活用する

文部科学省「情報モラル学習サイト」

活用型情報モラル教材
GIGA
ワークブック
スタンダード

ICTの活用場面 (8場面)

使う前に

調べる

交流する

共有する

写真を撮る

考える

つくる

家で使う

LINEみらい財団「GIGAワークブック」

情報活用場面で指導することにより、学習効果だけではなく、
指導時間の確保や教科横断的な指導の実現にも。

柏市立大津ヶ丘第一小学校

校長 佐和 伸明 先生

佐和先生のご報告から

【情報モラルで扱う内容】

(何を・どこまで教えるのか?)

フェイクニュース(6年生)

なぜフェイクニュースに騙されてしまうのだろうか

- 課題設定
- 情報収集



第3回 (放送日: 4月22日 午後、5月8日、5月15日)

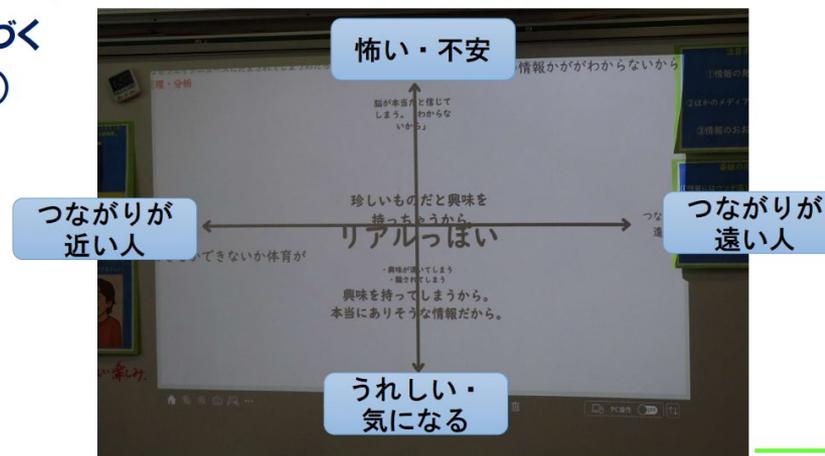
そのニュース広めて大丈夫? ~ フェイクニュース~

テーマはフェイクニュース。巧妙で悪質なネット上のウソが増えリテラシーの必要性が高まっている。ウソに気... NHK「アッ!どメディア」



フェイクニュース(6年生)

- 要素に気づく (整理・分析)



「情報モラルを知る」から「情報モラルを探究する」へ

(安全教育の側面だけではなく、リスク教育としてどう付き合っていくか)

【情報モラルの指導方法】 (どのように教えるのか?)

情報発信ライセンスの発行

情報発信の際に気をつけるべきことは何かを話し合う。



グループで話し合い、考えをテキストマイニングで整理・分析し、全体で共有する。

情報発信のルールについて確認し、学習をまとめる。



ブログでの情報発信を例に、話し合いをもとにルールを5つの観点から整理し、まとめる。

情報発信ライセンステストをフォームで実施する。



回答を送信するとすぐに結果が出るので、個別に復習に取り組むことができる。

6年 動画作品(地域CM)を作る



レストランみのわ

<https://www.mext.go.jp/zyoukatsu/moral/casestudy/22.html>

「守らなければいけないもの」から「活用のために必要なもの」へ
(上手な活用とリスクへの対応をバランスよく身につける一助に)

【指導時間の確保や指導計画】

(どう位置づけるのか?)

和歌山県立大津市立第一小学校

SAWA

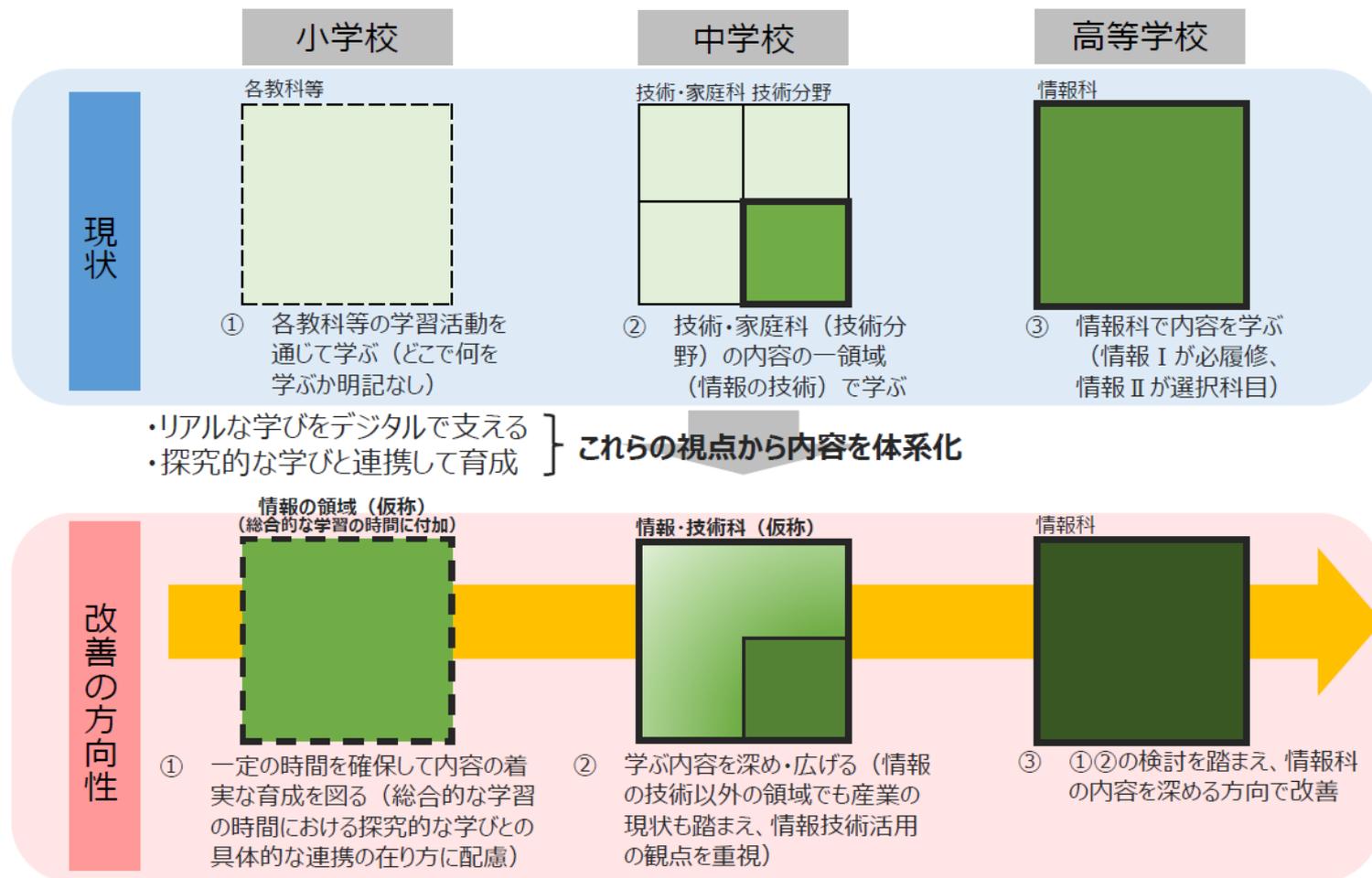
全学年共通「健康」

夏季休業中の課題

学年	共通	1	2	3
1	健康に気をつけて使う01 「健康に気をつけて使う」	マナーを守って使う01 「使いすぎについて考える」	マナーを守って使う02 「利用マナーについて考え」	タブレットを初めて使う01 「学習用タブレットを上手に使う」
2	健康に気をつけて使う01 「健康に気をつけて使う」	マナーを守って使う01 「使いすぎについて考える」	マナーを守って使う02 「利用マナーについて考え」	SNSなどを使う01 「SNSなどを使う」
3	健康に気をつけて使う01 「健康に気をつけて使う」	マナーを守って使う01 「使いすぎについて考える」	調べ学習 「利用マナーについて考える」	情報を確かめる01 「情報が正しいか確かめる」
4	健康に気をつけて使う01 「健康に気をつけて使う」	ネット交流 「相手のことを思いやる」	オンラインで交流する02 「上手にコミュニケーションをとる」	情報を確かめる02 「ネットの情報を確かめる」
5	健康に気をつけて使う01 「健康に気をつけて使う」	マナーを守って使う03 「ゲーム依存について考える」	情報を発信する01 「SNSを上手に使う」	情報発信 (Webページ作成) 「情報を確かめる」
6	健康に気をつけて使う01 「健康に気をつけて使う」	オンラインで交流する01 「相手のことを思いやる」	作品を作る (動画) 「情報を発信する02」	作品を作る01 「著作物をじょうずに扱う」

共通のテーマを軸として、発達段階による「活用スキル」の分類
(学校全体で考えるきっかけ, 家庭との連携にもつながる)

「情報の領域」をスポット的から、グラデーショナルな指導へ

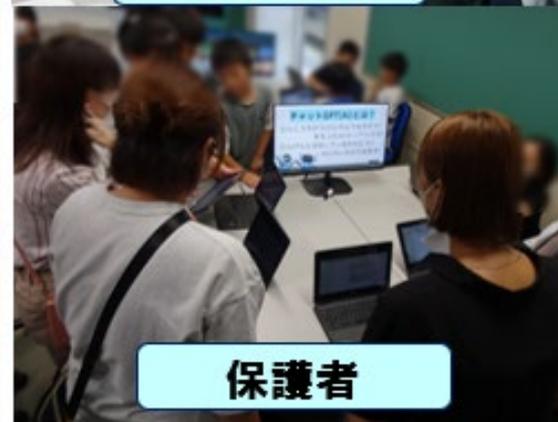
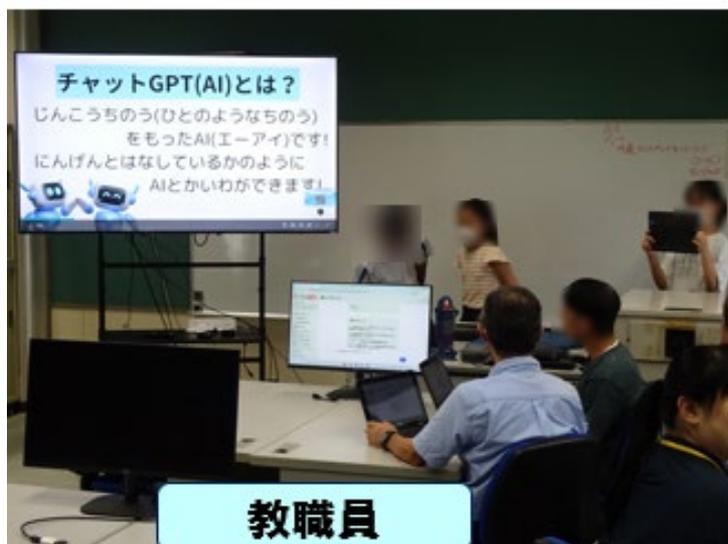


佐和先生のご報告から

【校内・家庭への浸透や指導体制】

(個人任せをどう解消するのか?)

子供が
地域・保護者・教師に
教える



「大人から教えられるもの」ではなく、「自ら考えて発信するもの」
(世代間ギャップを理解するきっかけにも)

パネルディスカッション
—佐和先生へのご質問—

もう少し伺ってみたいこと

- こういった取り組みの中でみられる子供たちの変化は？
(トラブルは減った？学力などへの影響は？)
- 学校での各先生方の役割は？
(教材はどこから？アイデアを考えるのは？研修などは？)
- 子供たちや先生のモチベーションを上げるためには？
(最初の一步をどのように踏み出すのか？)
- 保護者の方への理解を得るための工夫は？
(保護者の方が活用状況にばらつきがあるのでは？)

もう少し伺ってみたいこと

■こういった取り組みの中でみられる子供たちの変化は？
(トラブルは減った？学力などへの影響は？)

■学校での各先生方の役割は？
(教材はどこから？アイデアを考えるのは？研修などは？)

■子供たちや先生のモチベーションを上げるためには？
(最初の一步をどのように踏み出すのか？)

■保護者の方への理解を得るための工夫は？
(保護者の方が活用状況にばらつきがあるのでは？)

もう少し伺ってみたいこと

- こういった取り組みの中でみられる子供たちの変化は？
(トラブルは減った？学力などへの影響は？)
- **学校での各先生方の役割は？**
(教材はどこから？アイデアを考えるのは？研修などは？)
- 子供たちや先生のモチベーションを上げるためには？
(最初の一步をどのように踏み出すのか？)
- 保護者の方への理解を得るための工夫は？
(保護者の方が活用状況にばらつきがあるのでは？)

もう少し伺ってみたいこと

- こういった取り組みの中でみられる子供たちの変化は？
(トラブルは減った？学力などへの影響は？)
- 学校での各先生方の役割は？
(教材はどこから？アイデアを考えるのは？研修などは？)
- 子供たちや先生のモチベーションを上げるためには？**
(最初の一步をどのように踏み出すのか？)
- 保護者の方への理解を得るための工夫は？
(保護者の方が活用状況にばらつきがあるのでは？)

もう少し伺ってみたいこと

- こういった取り組みの中でみられる子供たちの変化は？
(トラブルは減った？学力などへの影響は？)
- 学校での各先生方の役割は？
(教材はどこから？アイデアを考えるのは？研修などは？)
- 子供たちや先生のモチベーションを上げるためには？
(最初の一步をどのように踏み出すのか？)
- 保護者の方への理解を得るための工夫は？
(保護者の方が活用状況にばらつきがあるのでは？)

「情報モラル」は“情報を活用しながら育てる力”



情報モラル教育＝情報活用能力の指導の一部

情報モラル教育は、ICTから子供たちを遠ざけることではなく、文脈の中で上手に活用させること

<アプローチの視点>

①「方法を探す」から「目的を探す」へ

⇒ 教材や時間を探す発想から、育てたい姿や場面を選ぶ

②「単発／個人」から「一貫／組織」へ

⇒ 教員のスキルに依存した指導ではなく、学校的文脈をどう作るか

セミナー全体を通じて

【明日からのアクションに向けて】

①「今ある学び」に情報モラルをどう重ねられるか？

⇒ ICT活用・探究活動・AI活用の場面で必要な情報モラルは？

②校内で「手段の共有」ではなく、「目的共有のため」の対話

⇒ 「情報モラルは大切」をもう一歩掘り下げて、「何を育てたい」か

③大人が“教える”から“共に考える”へ

⇒ 児童生徒・保護者・地域住民とともに、新しい情報社会やルールを
考える機会へ

学校・子供たちの実態に合わせて、
「情報社会に参画する態度」（≠使わせない）をどんな文脈で育てたいか